

平和民主革新の日本をめざす北海道の会(北海道革新懇)

# 北海道革新懇ニュース

201年7・8月合併号 札幌市白石区菊水3条3丁目2-17 沢田ビル Tel. 011-824-6333 Fax. 011-824-6334  
N O. 2 2 6 (発行毎月10日) 定価1部20円 E-mail:kakushin@star.px.to

### 全国革新懇の三つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

## 教育委員会の役割は学校を支えること 自由な実践を保障する条件整備こそ

道教委による教育への管理統制の強化は、学校に混乱と不信感を広げ、教育関係者のみならず少なからぬ道民の批判と心配を集めています。こうしたなか、士別市議会予算審査特別委員会(三月十四日)で、安川登志男士別市教育長は、会計検査院が行った教職員員の「不適切勤務」調査に関連する質問に対して、「管理主義の強化は断固として排除していきたい」と答えました。

### 時代錯誤に驚く 国旗・国歌のこと

安川 上川教育局での教育長会議に初めて参加した時、各学校の入学式や卒業式では様々な演出があるのに、壇上に国旗のないフロアで対面方式で行っている学校に行くと、教育局が「それは好ましくない



革新懇インタビュー

やすかわ としお  
**安川登志男**さん

1948年士別市生まれ。法政大学文学部卒。士別市職員。08年9月士別市教育長、現在に至る。

いと指導したと言う話を、至極当然に言われていることが時代錯誤で驚きました。さらに、年度当初の管内の校長会や教頭会で、式典でもないのに国旗をしつかりと掲げて会議をするというのは、ちよつと異常だなつていう印象を持ちました。また、音楽の授業で、指導

が足りないから子どもの声小さいなど、学校だけに国歌斉唱を強要することは如何なものかという印象を持っていたところへ、道教委から「学校で国旗・国歌がちゃんとやられているかどうか調査しろ」と通知がきました。

その調査結果で、どうやらうまくいっていないから各教育局から各市町村の学校を抽出して、「お忍び」で状況を見に行くと言う話になった。

「士別市は誰がきててもきちんと最上席を設けて対応する」「そんなスバイ的な発想を持つことは可笑しいんじゃないか」「こんなことがまかり通っているのか」と言う具合で、国旗・国歌のことが私と道教委との関わりの始まりでした。

### これが不適切勤務か 通知は拒否する

安川 昨市内内の三校で会計検査院の調査が行われ四件について服務規律違反と指摘されました。いずれも士別市教育研究会など「研究目的団体」の総会や会計監査のみの出席であり、これは本来業務でないとして処分と給与返還が行われました。その後、道教委から「不適

切とされた四件について、この職員は各学校の全校集会で謝罪し、さらにPTAなどよりなど印刷物での謝罪もすること」との通知がきました。この通知にどう対応するかと特別委員会で質問されたわけです。

私は「その必要なしと判断し、対応しなかった」「道教委の方向性は教員の意欲を下げてしまうようなこと。管理主義の強化は断固として排除する。管理ではなく、教員が創造的に職務を全うできる環境を周囲が整えていくことが大切。市教委としてはそうした環境整備に取り組んでいきたい」と答弁しました。

### かなりの教育長も 「如何なものか」と

安川 全道都市教育長会議で、道教委の服務規律調査などに対する対応などについて意見交換の場がありました。かなりの数の教育長さんが僕と同じような思いを持っていて、「自分だけがこんな考えを持っていいのかもわからない」と思っていたが、同じ考えの人がこんなないて安心した」という雰囲気でした。「調査のやり方」や「学校や教師への管理強化」は如何なものかという意見もありました。

先生方は時間外も土曜・日曜も本当に頑張っています。子どもたちの指導もそうです。地域のスポーツ・文化活動などでも頑張っています。

そう言う実態から離れた「不適切勤務」の指摘は、理不尽極まりないと思います。士別市が財政保障して運営する士別市教育研究会の活動が「不適切勤務」というのであれば、道教委がダメという業務でも、本来業務であるとか職務専念義務免除とする、市独自の服務規律・管理規則の見直し検討も必要ではないかという議論も出ています。

### 教育委員会の役割は 学校を支えること

安川 特別委員会のような答弁をしていると、士別市にマインナスや不利益があるのかもしれないませんが、「教育委員会の役割は学校を支えること」「先生方の自由な実践を保障する条件整備をすること」が私の信条ですから、当然と思っています。

大津のイジメ問題を考えても、先生方が子どもたちと向き合う時間がどんどん奪われていることを無視できないと思います。文科省や道教委の下請けではなくて、学校と教育委員会は管理監督する関係でなく対等なパートナーです。教育のためのいい条件が、自由な教育環境がしっかりと整うように支えていくのが教育委員会の役割です。教育活動の中心については一切学校にお任せする。教育委員会は周辺の条件整備をするというスタンスに立ちたいと思っています。